

二〇二〇年度 入学試験問題

国語総合 (試験時間 60分)

※ 問題は指示があるまで開けないでください。

【注意事項】

- 1 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 2 問題冊子は10ページで、解答用紙は別になっています。不良の場合は手を挙げて知らせてください。
- 3 解答はすべて解答用紙の所定欄に記入してください。
- 4 試験終了後、問題冊子は各自持ち帰ってください。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。なお、解答はすべて所定の解答欄に記しなさい。

昔話絵本を選ぶには

昔話絵本というのはとても大切なジャンルなので、なぜ大切かということ、そして、昔話絵本を選ぶには、どういうことに気を付けばいいかということ、かんたんにお話ししておきましょう。

昔話絵本が大切なのは、1昔話というものが、絵本の歴史とは比べものにならないくらい長い長い歴史を持った、とても重要なものだからです。私たちの祖先は、まだ本などというものがなかった時代、それどころか、文字さえも発明されていなかった時代から、経験したことや考えたことをお話しして語り、それを聞き覚えた人がまただれかに語るといふ具合にして、世代から世代へと、知識や知恵や楽しみを受け渡してきました。いま、昔話とか民話という名で知られているお話は、そんな語り伝えの財産のうちでも、とりわけ物語性があっておもしろく、長く広く親しまれてきたものだと言っていていいでしょう。

ですから、子どもたちにとつて、身近な大人たちに昔話を語ってもらうというのは、大きな楽しみであると同時に、生きる知恵を身にうけるための貴重な手段でもありました。昔話はめりのはっきりした展開でぐいぐいと進み、現実味の有無など気にせず、生死にかかわる事件や波瀾^{はらん}アパンジョウの人生ドラマをいとも軽やかにイカ^いけ抜けていきますが、だからこそ子どもたちは、そこから前もっているようなヒントをウヒロ^いい集めておくことができたのです。

*

いま、そんな語りの伝統は、ほとんど消え失せてしまいました。それにかわって、昔話を覚えて語るストーリーテリングが、図書館エシシヨやボランティアの方々を中心に、熱心に行なわれていますが、一人一人の子どもがどれだけそれを聞く機会に恵まれるだろうかと考えると、2やはり生活のなかに語りがあった時代のようなわけにはいかないのを認めないわけにはいきません。そこで非常にカ重宝^{じゆうぼう}になるのが、3昔話絵本であり、だからこそ、世間にキ流布^{りゅうぷ}している絵本には、昔話を題材にしたものの占める割合がとても大きいのです。

昔話絵本が身近にあれば、覚えて語れない大人でも、子どもたちに昔話を読み聞かせることができます。また、昔ならお話に何が出てこようと、たいていはくらしのなかで見慣れていて、イメージするのに困りませんでした。が、いまは「生活そのものがク挿絵がわり」とは言えませんので、いい絵が添えられていけば、とても助かります。また、昔話絵本が増えたおかげで、自分の国の昔話だけでなく、世界じゅうの昔話を幅広く楽しめるようになったのもうれいことです。先祖伝来のくらしを受け継ぐだけではすまなくなつたいまの時代、生きる知恵も世界じゅうのいろんな国から分けてもらい、幅広く柔軟に⁴しておくに越したことはありません。

ところが困ったことに、言葉だけで楽しむものとして育ってきた昔話は、そうかんたんに絵本になつてはくれません。めりはりのきいたスピーディな展開が可能なのは、あちこちで思い切つた単純化や誇張をしているおかげですが、言葉ではそれがすんなりと受け取れるのに、絵になると不自然さが気になることもしばしばです。また、オオカミがコブタを食べたりするのも、耳で聞くお話なら、「世のなかというのはそういうもの」「生きるというのはいふこと」と、大づかみに納得できますが、絵に描かれたかわいいコブタが食べられるとなると、「残酷だ」と感じさせられることになります。

その結果、昔話絵本では、お話がもとの昔話から大きく変えられていることがよくあります。ちがつたものになつても、それはそれで納得できるお話になつていれば、必ずしも悪いとは言えないのですが、昔話というのは、いろんな要素がオセツミヨウなバランスで支えあつているからこそ納得させる力を持ち、長く生き残つてきたものですから、一部分に手を加えると、どうしてもせつかくのバランスが崩れ、力を失つてしまいます。たとえば「三びきのこぶた」で、三びきともが食べられず⁵筋書きに変えて、それでもなお全体の流れに不自然さがなく、しかも「生きる知恵」として納得できる何かが伝わるということは、まず期待できません。もとのお話にこめられていた「知恵」が、改変によつて失われるとき、そこにはしばしば無理な「教訓」が加えられ、お話が本来与えてくれたはずの喜びはすっかり色あせてしまうのです。

*

ですから昔話絵本は、よほど気をつけて選ばなくてはなりません。困ったことに、それはかんたんなことではありません。

まず困るのは、昔話絵本にはおなじ題のものがたくさんあるということです。創作絵本でも題が似てしまうことはありますが、昔話絵本の場合、ひとつの昔話をとでもたくさんの方が絵本にするので、『ねむりひめ』という絵本はいいそうだといい情報だけで探したのでは、定評あるフェリクス・ホフマン作にぶつかるとはかぎりません。そこでお勧めしたいのが、気になる昔話絵本を一冊選び、それとおなじ題のものを図書館でありつたけ借り集め、仲間で読み聞かせあうなどして、ケ丹念に比べてみることで。それをやれば、少なくとも、いいものと感心できないものとのあいだにどれほどの差があるのかがわかり、次に選ぶときにより慎重になりますし、それをくり返していれば、6 目も肥えてきます。そうやって目を肥やしていけば、創作絵本を選ぶときにも応用がききます。

いま「おなじ題」と言いましたが、昔話の題というのは創作文学のようにはつきりしてはおらず、「ねむりひめ」と「いばらひめ」と「眠れる森の美女」、「おだんごぼん」と「ころころパンケーキ」、「つるにようぼう」と「つるのおんがえし」、「かにむかし」と「さるかに合戦」、「たにし長者」と「つぶ息子」といった具合に、題はちがってもおおむねおなじ話というものがいろいろありますから、わからなかったら、図書館でも相談してみるといいでしょう。

もつといいのは、子どものための本として編集されているけれど、学術的にもしつかりしている昔話集——たとえば、石井桃子編・訳の『イギリスとアイルランドの昔話』とか、内田莉莎子編・訳の『ロシアの昔話』、カルヴィーノ作、河島英昭訳のイタリア民話選『みどりの小鳥』などといったものを、いろいろ読んでみることです。昔話特有の語り口に慣れていないと最初はとまどうかもしれませんが、やがて、「なるほど、昔話ってほんとにおもしろいな」と実感できるようになるはず。そうやって、言葉だけでできた昔話のおもしろさをつかんでから、昔話絵本にもどり、お話の展開が様式にかなっているか、絵が耳で聞いたときに頭のなかで起こることをじゃましていないか、などの点に気をつけながら、一冊一冊吟味してみてください。たとえば、絵のなかに不必要な細かいものがたくさん描きこまれていると、それを見て楽しむことに気をとられ、「それから?」「それから?」とお話を追う気持ちが薄れてしまいます。それでは、絵がどんなに美しくても、昔話絵本としてはちよつと具合が悪いわけです。

*

最後にもうひとつ言っておきたいのは、昔話絵本には文がかなり長いものも多いけれど、「読むのがたいへんだ」とか、「子どもがついてこないかも」などと敬遠しないでほしい、ということです。昔話というのは、本来が語られていたものですから、声に出しやすいようにできていて、長くてたいへんそうでも、読んでみると読み心地がよくて、案外苦にはなりません。また、展開に一定の様式があり、調子のいいやりとりが二回、三回とくりかえされ、期待どおりの方向へぐいぐい進んでいくので、「ちよつと長すぎるかな」と思っても、子どもたちは飽きることなく、驚くほど集中して聞いてくれます。たとえば、中国の昔話の絵本『王さまと九人のきょうだい』（君島久子訳、赤羽末吉絵）や、リトアニア民話の絵本『パンのかけらとちいさなあくま』（内田莉紗子再話、堀内誠一画）などを、ぜひ一度試してみてください。読み心地もとびきりだし、痛快で愉快で、子どもたちをぐぐつとひきつけることうけあいです。

文章の量の多い昔話絵本は、絵本から物語の本への橋渡しにも欠かせません。絵本を読み聞かせてもらうとき、子どもたちは絵を見ながらお話を聞いているわけですが、その意識の配分がもっぱら絵を見るほうに傾いていると、物語の本を読むことにはもちろん、読んでもらって聞くことにも進んでいきにくくなります。聞くだけなら読むのとちがつてかんたんかというところ、そうではなくて、注意をとぎれさせずにお話に意識を集中し、得た情報を整理しながら聞きつづけていくためには、場面場面を楽しむだけでなく、お話のつながりを意識しながら聞くといい体験の長い積み重ねが必要です。昔話絵本は、とびきりおもしろいはずの部分が絵にしにくかったりするからこそ、絵に向けていた意識を少し減らし、それを言葉で語られるお話のほうに振り向けていくことを促します。やがて文字ばかりの本が読めるようになるためにも、小学校に進んで先生のお話が聞けるようになるためにも、すばらしい橋渡しとなる昔話絵本をおおいに活用してください。

（脇明子「絵本選びと読み聞かせのために コラム2」『子どもの育ちを支える絵本』より）

*原文の冒頭を問題文として整えるために改めています。

問一 二重傍線部ア、オのカタカナに相当する漢字を楷書で書きなさい。

問二 二重傍線部カ、コ、ク、ケの漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

問三 傍線部1「昔話」について、その特徴のうち、筆者の考える最良のものを次から選びなさい（以下、選択肢問題は、記号・番号で記入すること）。

- ① 長く広く親しまれた歴史を持っている。
- ② 語り伝えられたものである。
- ③ 世代から世代に受け渡されるものである。
- ④ 楽しみであり、生きる知恵をうける手段である。
- ⑤ 展開にめりはりがあり、現実味がなくても納得できる。

問四 傍線部2「やはり生活のなかに語りがあった時代のようなわけにはいかないのを認めないわけにはいきません」の意味するところで、最も適切なものを次から選びなさい。

- ① 熱心なストーリーテリングは語りの伝統の消失を補うと認めたい。
- ② 生活の中に語りがあった時代と、まったく同じであると認める。
- ③ 生活の中に語りがあった時代とは、少し異なると認める。
- ④ 生活の中に語りがあった時代ほど機会に恵まれるとは認められない。
- ⑤ 生活の中に語りがあった時代ほど機会に恵まれないと認めたくない。

問五 傍線部3「昔話絵本」が重宝になるのはなぜですか。不適切なものを次から選びなさい。

- ① 語り伝えられた昔話が整えられたから。
- ② 昔話を覚えなくても、読み聞かせできるから。
- ③ 昔の生活が絵でイメージできるから。
- ④ 世界じゅうの昔話を幅広く楽しめるから。
- ⑤ 世界じゅうの生きる知恵を知ることができるから。

問六 傍線部4「しておくに越したことはありません」の意味するところで、最も適切なものを次から選びなさい。

- ① しておくべきだ
- ② しておいてほしい
- ③ しておくのがよい
- ④ しておくに困らない
- ⑤ しておいてもよい

問七 傍線部5「筋書き」と置き換えられない言葉を次から選びなさい。

- ① お話
- ② ストーリー
- ③ 展開
- ④ 語り口
- ⑤ あらすじ

問八 傍線部6「目も肥えてきます」の「目が肥える」と同様の意味にするときに、「目が（ ）（ ）の、かつこの中に入る、最も適切な語を次から選びなさい。

- ① 明く ② 据わる ③ 出る ④ 利く ⑤ 届く

問十 昔話をもとにして絵本が作られることについて、あなたが考える良い点・悪い点を理由とともに、回答欄に書きなさい。

□ 次の文の（ ）の箇所などの語句を補えばよいのか、最も適切なものを、それぞれア～ウの中から選びなさい。

- 1 入会希望者への手紙には、申込用紙を（ア）挿入 イ 封入 ウ 密封）している。
- 2 音楽会は終わったが、アンコール曲の（ア）余韻 イ 残響 ウ 余情）が、耳に残っている。
- 3 謎解きは、いよいよ事件の（ア）中心 イ 本分 ウ 核心）に迫ってきた。
- 4 今回の試験では、追試に（ア）匹敵 イ 適応 ウ 該当）する人はいません。
- 5 彼のあのやわらかな（ア）物言い イ 言葉尻 ウ 毒舌）は、人柄の良さを感じさせる。

三

次の1～5は、目上の人やあまり親しくない人に対する言い回しです。最も適切な表現をア～ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 1 料金は、そちらで（ア お支払い イ お支払いして ウ お支払いなされて）ください。
- 2 病院では、大声でのおしゃべりは（ア やめて イ 注意して ウ ご遠慮）ください。
- 3 私の母も、A子さんに（ア お会いになりたい イ お目にかかりたい ウ 会ってみたい）と申しています。
- 4 もう一杯、コーヒーを（ア いただき イ 召し上がり ウ 飲み）ませんか。
- 5 今春、英国の皇太子夫妻が東京に（ア いらつしやい イ こられ ウ き）ます。

四

次の傍線部のカタカナにあてはまる漢字を、それぞれ後ろの語群から選び、記号で答えなさい。

- 1 ここに、志望動機をシヨウキしてください。
- 2 そんなことを言うなんて、シヨウキの沙汰ではない。
- 3 今回は売れ残っている服を売り尽くすシヨウキを逸した。
- 4 負けそうな試合だったが、最後にシヨウキを掴んだ。

（ア 正気 イ 勝機 ウ 将器 エ 商機 オ 詳記）

- 5 工事でバス停の場所がイドウしている。
- 6 新旧のバージョンのイドウを調べた。
- 7 彼の部署では、人事イドウを行った。

(ア 異動 イ 移同 ウ 異道 エ 異同 オ 移動)

- 8 旅行のため、家をアける。

- 9 店は、毎朝九時にアける。

- 10 とうとう夜がアける。

- 11 空にタコをアげる。

- 12 教会で結婚式をアげる。

- 13 社長のお嬢さんに結婚祝いを差しアげる

(ア 揚 イ 明 ウ 上 エ 握 オ 空 カ 開 キ 騰 ク 拳)

- 14 セキネンの恨みを晴らす。

- 15 彼女にセキネンの面影はない。

(ア 塞年 イ 積年 ウ 積念 エ 昔年)

五

次の1～5の空欄に適切な漢字を入れて四字熟語を作りなさい。(A)漢字はア～コから選び、記号で答えなさい。また、(B)正しい意味をa～gから選び、記号で答えなさい。選択肢には使わない漢字や意味もあります。

1 南□北馬

2 朝令暮□

3 内□外剛

4 □器小用

5 東奔西□

(A) (ア) 発 (イ) 改 (ウ) 中 (エ) 走 (オ) 変 (カ) 船 (キ) 大 (ク) 柔 (ケ) 鳥 (コ) 軟

(B) a 本当は気が弱いの態度が強そうなこと。

b 優れた才能を持つ人を、つまらない仕事に使うこと。

c 目的があつてあちこち忙しく走りまわること。

d たえず各地に旅行すること。

f 広い世界に行くこと。

g 方針が頻繁に変えられて当てにならないこと。

二〇二〇年度 国語総合 解答用紙

氏名

受験番号

一

問一	問二	問三
ア	カ	問三 2
万丈	ちようほう	問四 4
イ	キ	問五 1
駆	るふ	問六 3
ウ	ク	問七 4
拾	さしえ	問八 4
エ	ケ	
司書	たんねん	
オ	コ	
絶妙	うなが	
10	10	24
2*5	2*5	4*6

問十	
悪い点	良い点
<ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけで楽しまれてきた昔話は思い切った単純化や誇張があり、絵になると不自然さや残酷さが気になる。 ・内容の不自然さや残酷さを補うために、内容が大きく変えられていることがある。 ・文が長いものが多いので、読むのを敬遠される場合がある。 ・内容が変えられる時に、知恵は、教訓となり、楽しさが色あせてしまう。等 	<ul style="list-style-type: none"> ・本来語られていたものである中で、声に出しやすく、読み心地がよく、繰り返しが多いので、子どもが飽きることなく集中できる。 ・文章の量が多い絵本は、お話しとの繋がりを意識しながら聞く体験を積み重ねるので、絵本から物語の本への橋渡しになる。
8	8

二

1
イ
2
ア
3
ウ
4
ウ
5
ア

5

三

1
ア
2
ウ
3
イ
4
イ
5
ア

5

四

11	6	1
ア	エ	オ
12	7	2
ク	ア	ア
13	8	3
ウ	オ	エ
14	9	4
イ	カ	イ
15	10	5
エ	イ	オ

15 各1点

五

B	A
1	1
d	カ
2	2
g	イ
3	3
a	ク
4	4
b	キ
5	5
c	エ

5 10 1*5 2*5

[Blank dotted boxes]

[Blank dotted boxes]

[Blank dotted boxes]

[Blank dotted boxes]

[Blank dotted boxes]

[Blank boxes]

100